

2011年度外国人留学生入学試験「実技試験」「小論文」等の採点基準

学科・専攻	実技試験(芸術学科は小論文)	面接		
	狙い・意図、採点のポイント	狙い・意図、採点のポイント	小論文利用	実技試験作品利用
日本画	与えられたモチーフに対する発想力と表現力(構成、描写、色彩感覚)を求めた。	実技試験作品の制作意図と本学志望理由と小論文を参考に面接をおこない、日本語の理解力を判断した。	○	○
油画	普段着に長いストールを首に巻いたモデルが、くつろいだ姿勢で座っている。柔らかいストールの感触と、そのストールに前面を隠されながらもしっかりと存在感のある人体を共に表現する力があるかなどを総合的に判断している。	表現することへの意欲の強いかどうか。本学を選んだ理由、留学へのビジョンを明確に持っているかどうか。それらを日本語で表現する能力などを総合的に判断している。	-	-
彫刻	造形・創作表現を行うために必要な基礎力をみる為に、モチーフを正確かつ立体的な構築感覚などが表現できるか審査した。	進学目的、研究テーマ、自分の意思など日本語による会話を通じて審査した。	○	○
工芸	基礎的な描写力を身につけていること。描写することは目から脳、そして手より表わされる行為、その人の感動が伝わってくる作品となることを期待する。構図、立体認識、物質観、配色などを総合的に判断する。	なぜ本学の工芸学科を選びそして何を学びたいのか。将来の展望など熱意があり説得力のある答が欲しい。実技試験を介し感想を話してもらうことで本人の制作姿勢を再確認したい。学業を達成することに必要な日本語能力があるかも含め判断した。	○	○
グラフィックデザイン	鉛筆デッサン ・理解力 問題の把握、理解が正しいか ・伝達力 問題の目的や状況を正確に表現しているか ・発想力 問題を造形化するアイデアが優れているか ・描写力 構図、形、動く、光、量感などを描写することに必要な技術が優れているか 個性 デッサンからうかがえる品格、感性に優れているか 色彩構成 ・理解力 問題の把握、理解が正しいか ・発想力 問題を造形化するアイデアが優れているか 造形力 アイデアを明快でムダのない色彩と構成によって、美しく整理できているか 完成度 手仕事としての仕上げが優れているか 個性 品格、感性に優れているか	・日本語で日常会話が行えるか ・専門分野の用語が理解できるか ・入学志望理由が明確であるか ・授業への取り組みの意欲があるか	○	○
プロダクトデザイン	・理解力=問題の把握、理解が適切か ・発想力=アイデアが優れているか ・独創性=他にないアイデアか ・実現力=アイデア具体化方法の知識があるか ・表現力=アイデアが伝わる表現か	・授業に必要な対話力があるか ・本専攻の内容を理解しているか ・本専攻への入学意図は明確か ・自分の意見を述べられるか ・学習意欲が感じられるか	-	-
テキスタイルデザイン	テキスタイルデザインを学ぶために必要な基礎的観察力と描写力、及び色彩表現力を問うことをねらいとしてモチーフをパブリカとガラスの小皿にして出題した。設問を正しく理解しているかどうか、独創的且つ調和的な構成がいていねいできているかを採点のポイントとした。	ひとつは、授業についていくことが出来る十分な日本語力と造形力を有してかどうかを問うために、もうひとつは、テキスタイルデザインを学ぶための意志や志願の動機を明確に説明できるかどうかを問うことをねらいとして面接試験を実施。また、共通教育の小論文は日本語の記述力を見るために参考にした。	○	-
環境デザイン	環境デザインを学ぶ上で最低限必要な基礎的造形力、および基礎的デッサン力があるか。形、空間を把握し、平面上に表現する能力があるか。	本学科の授業を理解できるだけの日本語能力があるか。日本で、また本学科で環境デザインを学ぶ意欲、目的意識がはっきりしているか。	-	○
情報芸術コース	出題テーマとなった「世界と個人」「69億という数」は、なにか特定の具体的な対象を指し示すというよりも、抽象的な概念であり、何らかの正解があるわけではない。そうした問いに対して、大胆かつ創造出来に取り組んでいく能力と、テーマを視覚化したときの演出や描写力、表現のバランスなどを総合的に評価した。	・美術大学、特に情報芸術コースの1年次のカリキュラムに必要な、美術/デザインに関する基礎的な知識やスキルを持っているか ・母国の文化芸術に関する関心や知識 ・日本、特に本学で美術/デザインを学びたいという動機と熱意 ・日本語でのコミュニケーション能力(日本語を取得しようという気持)	-	-
情報デザインコース	1発見 子供のころの自分の生活の中から何を発見し選択するか 2構成 その要素を限定したかたちを用いて再構成できているか 3表現 自分の子供時代の興味が伝わるように表現できているか 以上の3点を確認・評価することが出題の意図であり採点のポイントである	・一般入試の学生と遜色(そんしょく)しない描画か、表現力を持っているか ・情報デザインコースに対する適応力を持っているか ・専門講義科目を理解する学力は備わっているか	○	○
芸術	日本語の習熟度だけでなく思考力をみます。論述の着眼点が出題内容に対して的確であるか、論旨は明確で説得力があるか、という点も判断基準となります。常識的にまとめあげた文章より、テーマに踏み込んだ独自の発想を期待しています。	外国人留学生の存在は他の学生にとってもおおきな刺激となります。面接試験では直接本人と会って、日本語能力が十分であるか芸術に関する最低限の基礎知識をもっているか、などを判断します。	-	-

全学科共通小論文				
<p>ねらい・意図：留学の目的が明確に持たれているか。                  採点ポイント：正しい日本の文章が書けているか。何を学びたいのか軸がしっかりとしているか。具体的に書かれているか。</p>				